

YASHICA

minimatic

ヤシカミニマティック S の使い方



各部の名前を覚えましょう

フィルム巻上げ
レバー

シャッター
ボタン

露出計受光板



アクセサリ

シュー

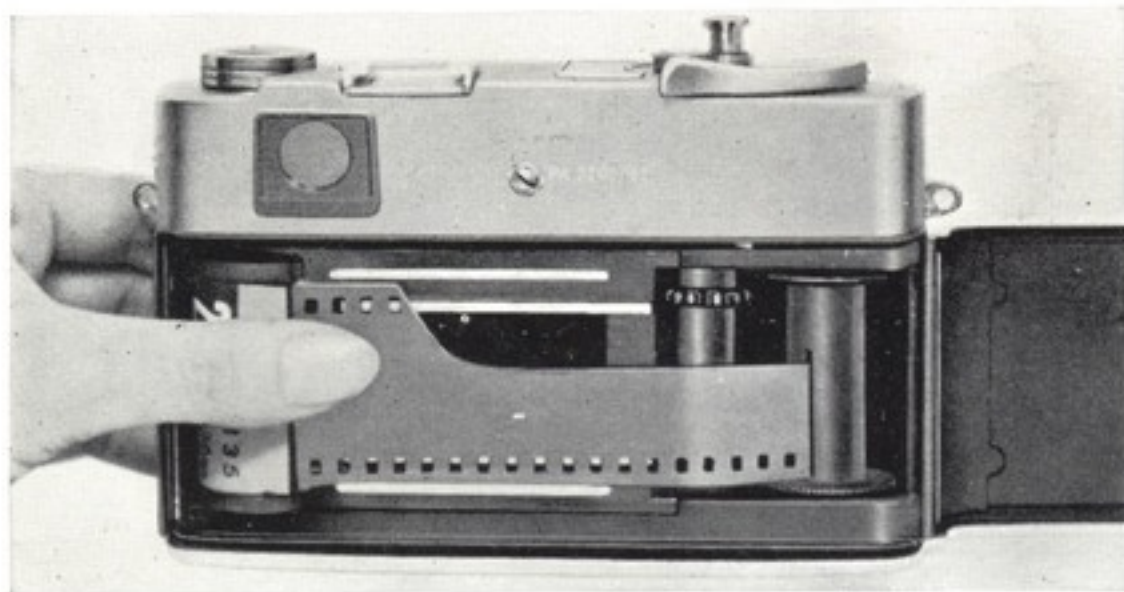
フィルム巻戻し
ノブ

ファインダー

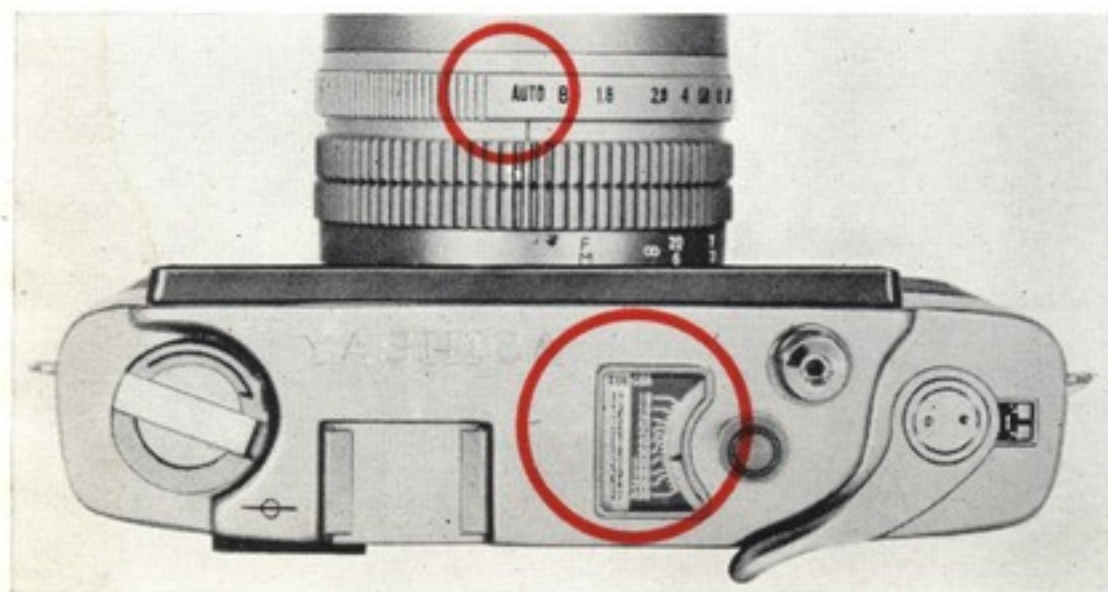
レンズ



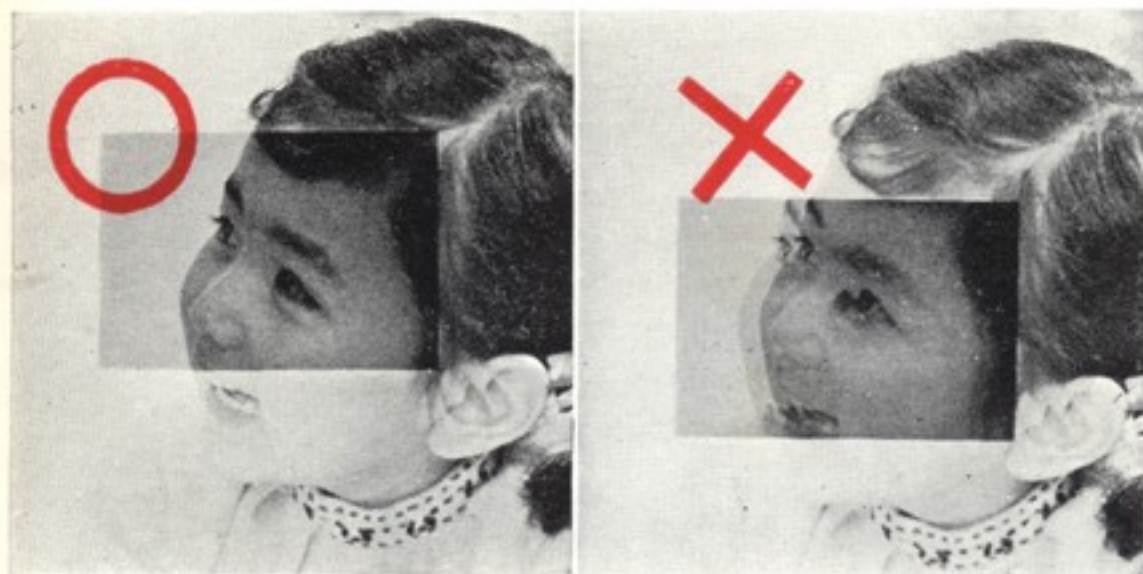
これだけの操作で写せます



- 1** フィルムを入れます。
フィルムに入れ方が悪いと、せっかくの写真が無駄になりますから、正しく入れてください。



- 2** ASA感度とAUTOを合わせる
使用フィルムのASA感度数を合わせ、マニュアルリングをAUTOにすれば、EE撮影ができます。



3 ピントを合わせる

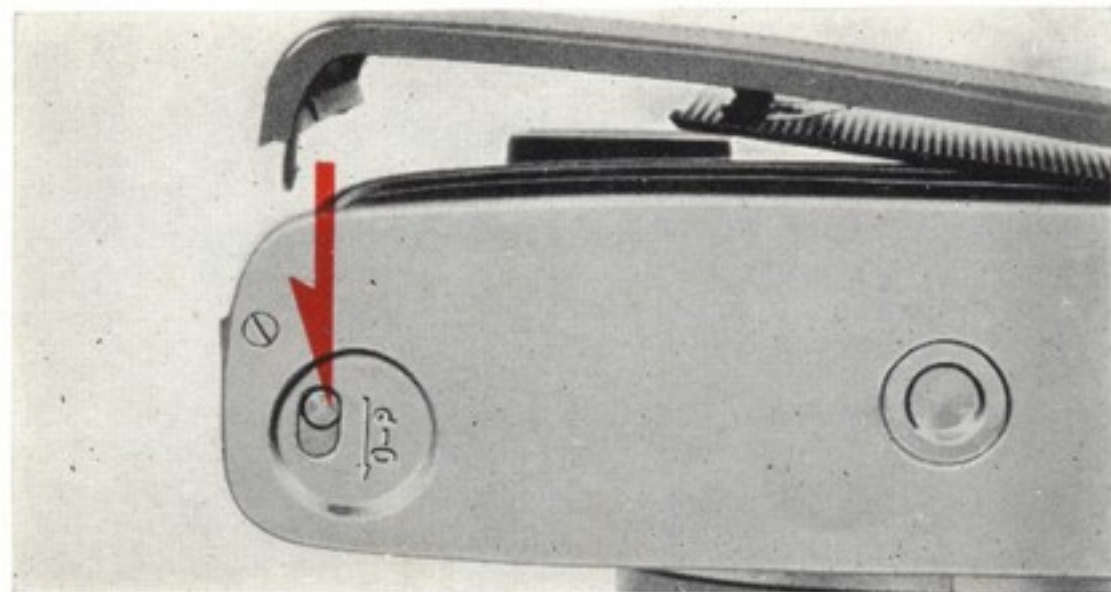
ピント合わせは二重像合致方式です。像が一つに見えればピントが合っています。



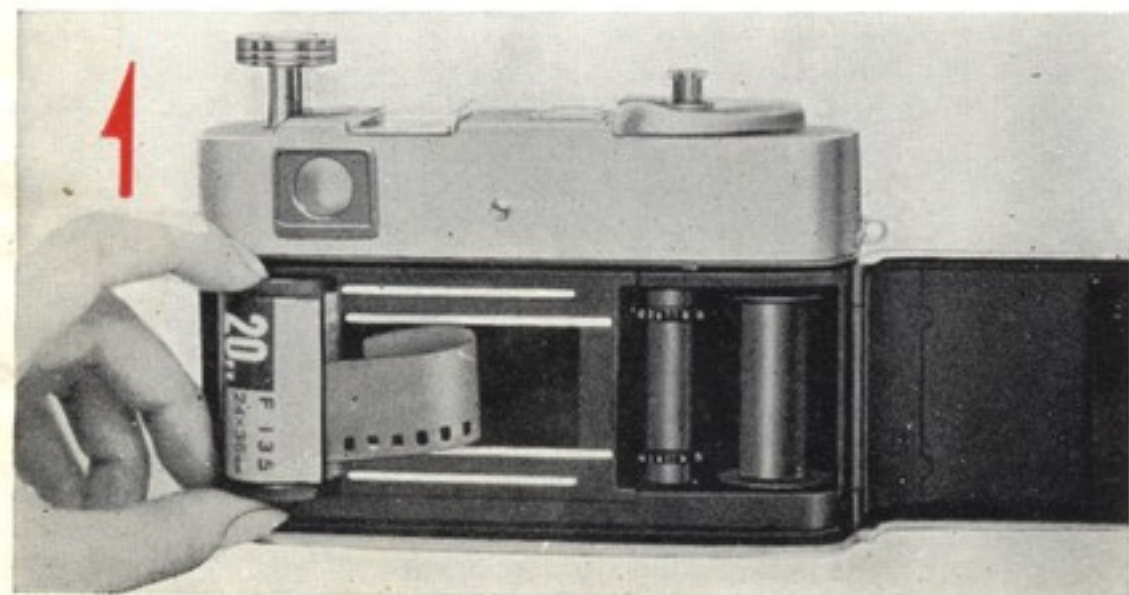
4 正しく構えて、シャッターを切ればOKです。

ファインダーのフレーム内で正しく構図をきめてください。

フィルムの入れ方 (1)

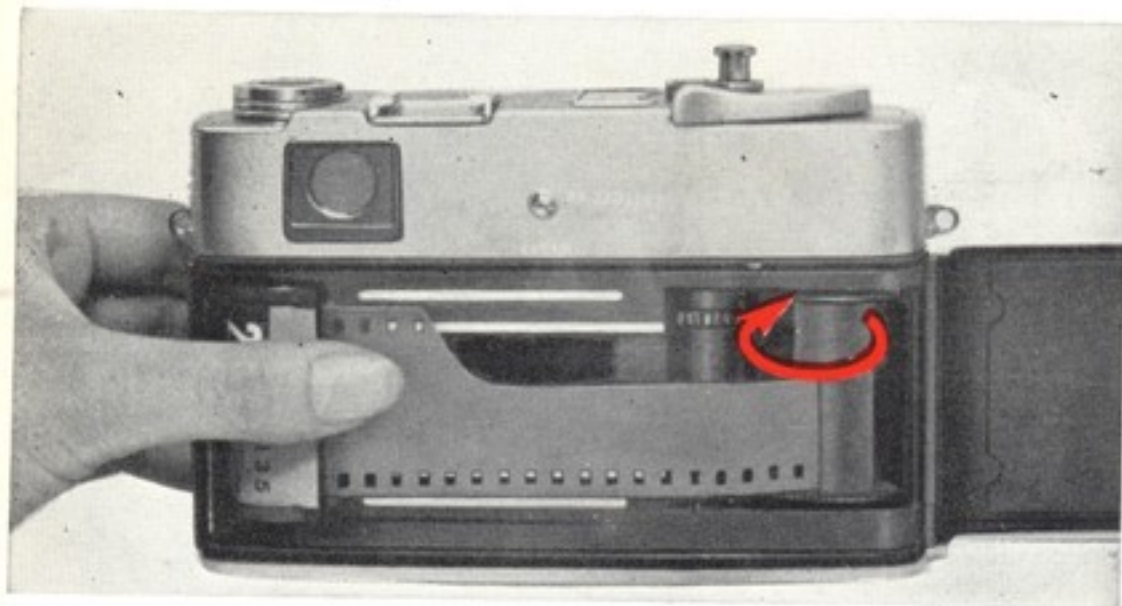


底部の裏蓋開閉ボタンを矢印方向に移動して押すと、自動的に裏蓋が開きます



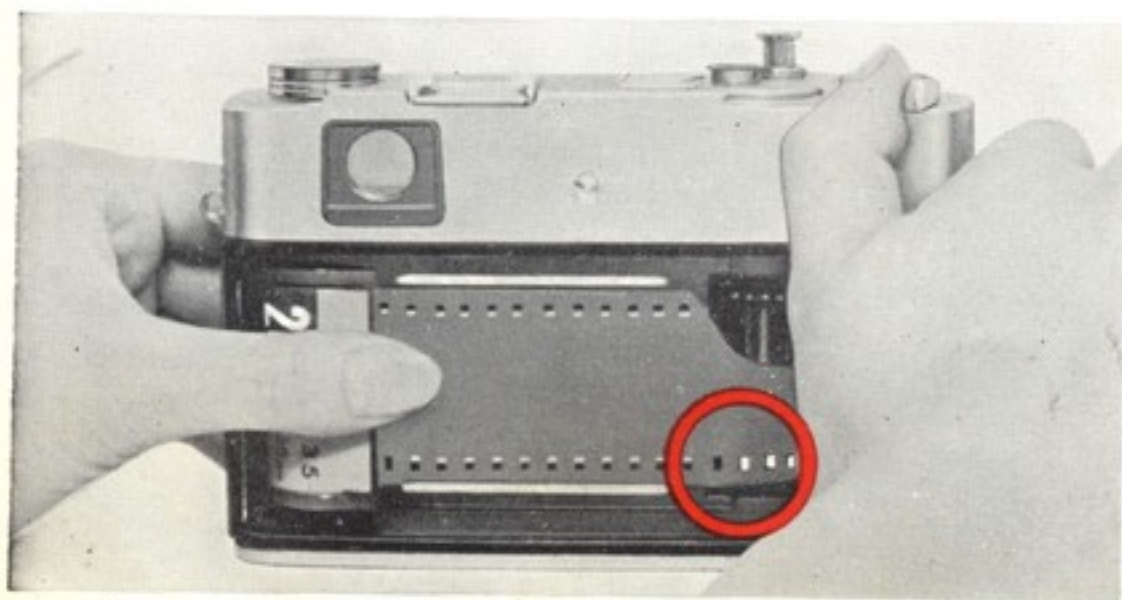
裏蓋を開いたら、フィルム巻戻しノブを上引きあげます。
パトローネを入れて、ノブを元通りに下げます。

直射日光下をさげ、木蔭などなるべく暗いところに入れてください。



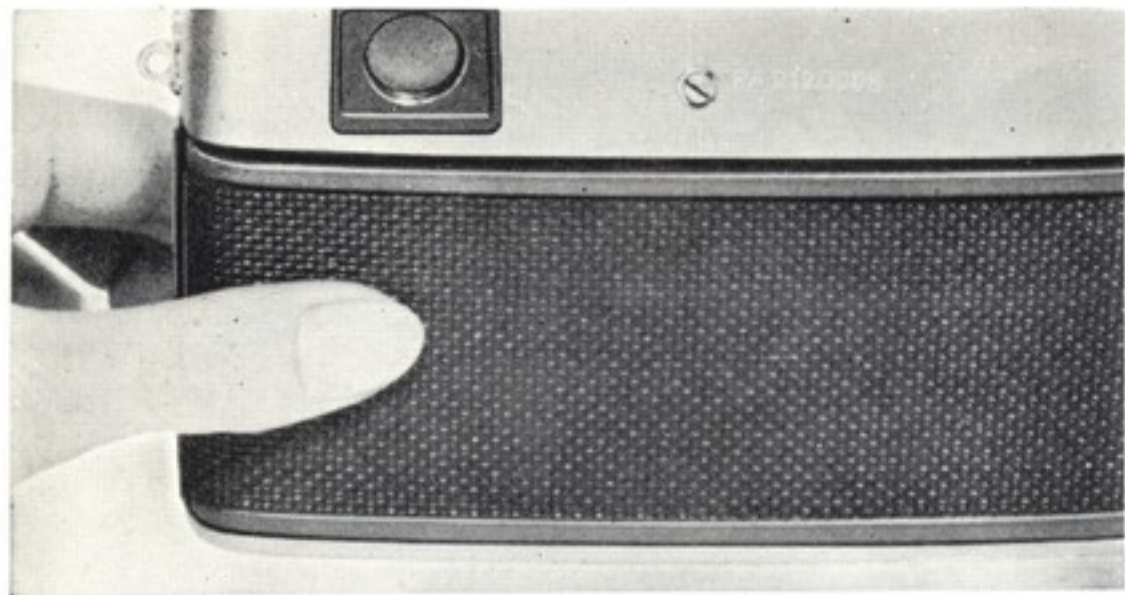
フィルムを引きだし、巻取りスプールにフィルムの先端を十分に差し込みます。(この差し込みが曲っていたり、不十分だと、巻取り不能になることがありますから注意してください。)

スプールは、上の矢印のように回りますから注意して回してください。



スプロケットの歯に正しくかみ合わせて、フィルム巻上げレバーを静かに巻き、フィルムが確実に送られるかを確認してください。

フィルムの入れ方 (2)



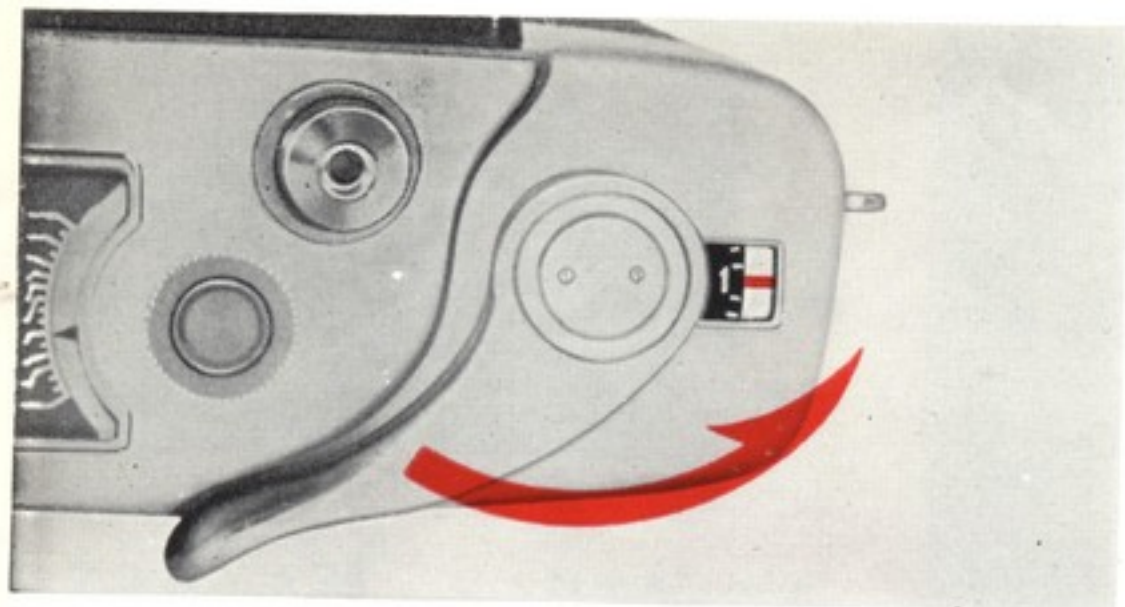
裏蓋を軽く押せば自動的に蓋がしまります。



巻戻しノブのクランクを起して、矢印方向に約ひとまわしさせ、フィルムのたるみをなくしておきます。

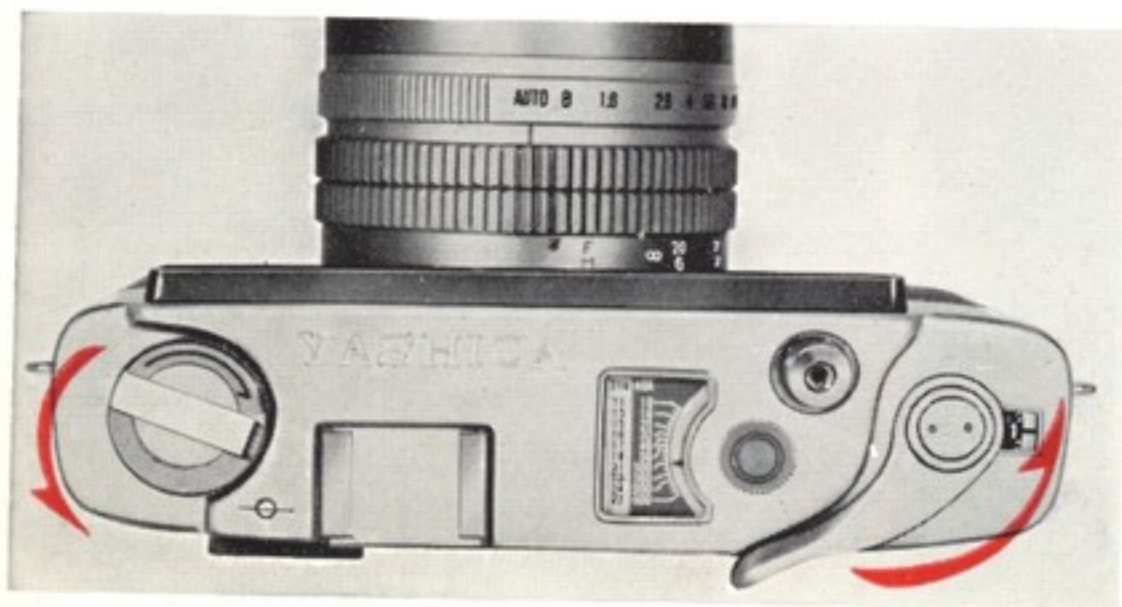
クランクを元どおりにしておきます。

フィルムを入れたら、必ず枚数計を合わせてください。



フィルム枚数計にS(スタート)がでて
いますから1がでるまで、フィルム巻
上げレバーを巻き空写しをします。

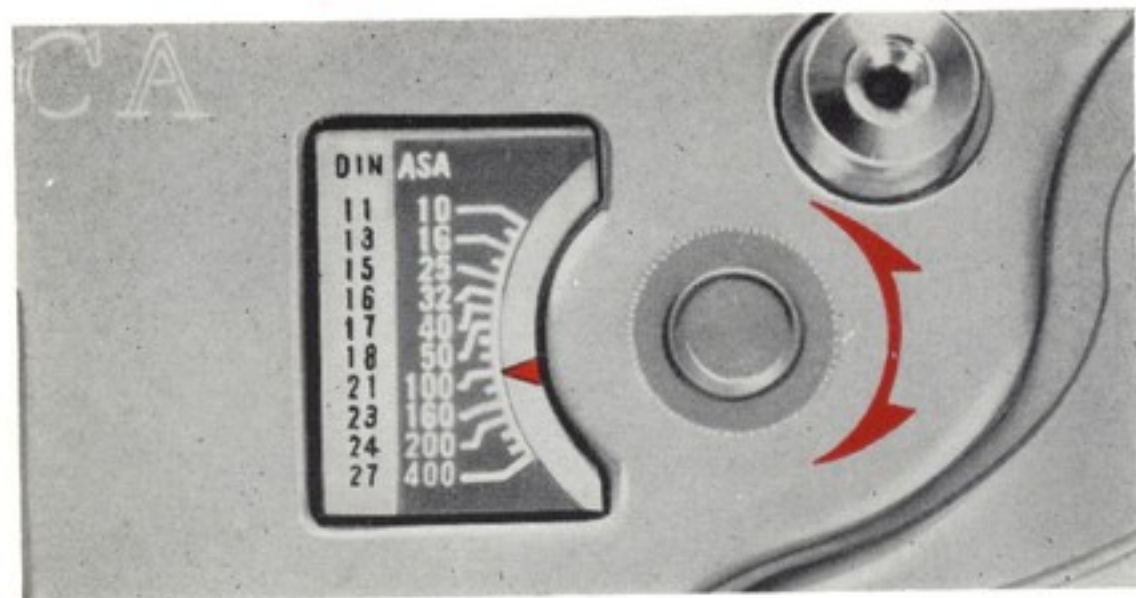
(フィルム枚数計は自動復元式ですから
裏蓋を開くとSにもどります。)



あとは、撮影した枚数が自動的に表示
されます。

巻上げレバーを巻いたとき、巻戻し
ノブが回れば、フィルムが正しく送
られていることになります。

EE撮影で正しい露出を



1 ASA感度を合わせる

ASA感度調節ノブを上を持ちあげて動かし、使用フィルムのASA感度数に◀印を合わせます。これを忘れると適正な露出が得られません。

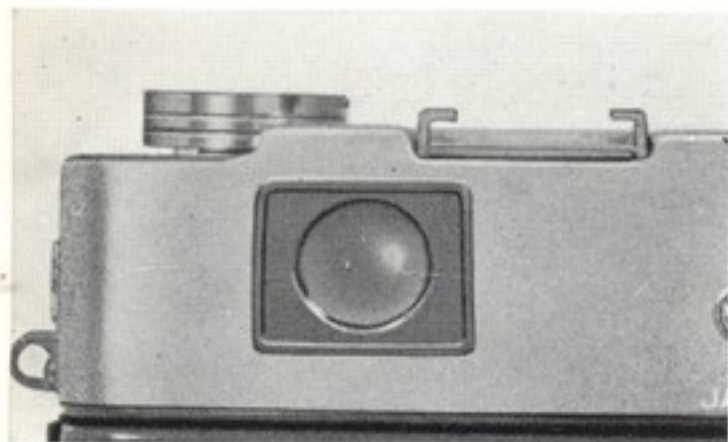
★ASA感度とは、フィルム感光度指数のことで、フィルム説明書に書いてある露光指数のことをいいます。



2 AUTOに合わせる

マニュアルリングを回して、AUTOに合わせます。

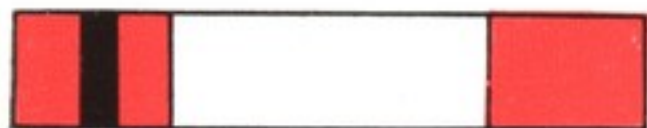
これによってEE機構が作動します。



3 ファインダーを覗くと、下図のような撮影
限界表示板が見えます。

X

露出が過度のとき



針が左側の赤にあるときは、
露出過度ですから、フィルタ
ー (ND・Y₂等) をかけてから
EE撮影をします。(12頁参照)

O

露出が正しいとき

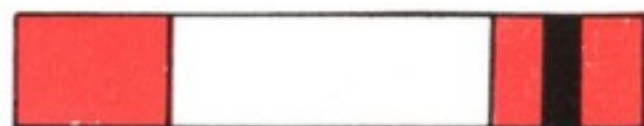


EE撮影ができます

針が両側の赤の間であれば
撮影ができます。

X

露出が不足のとき



針が右側の赤に入っている
ときは、露出不足ですから
EE撮影をやめて、シンク
ロ撮影に切替えます。

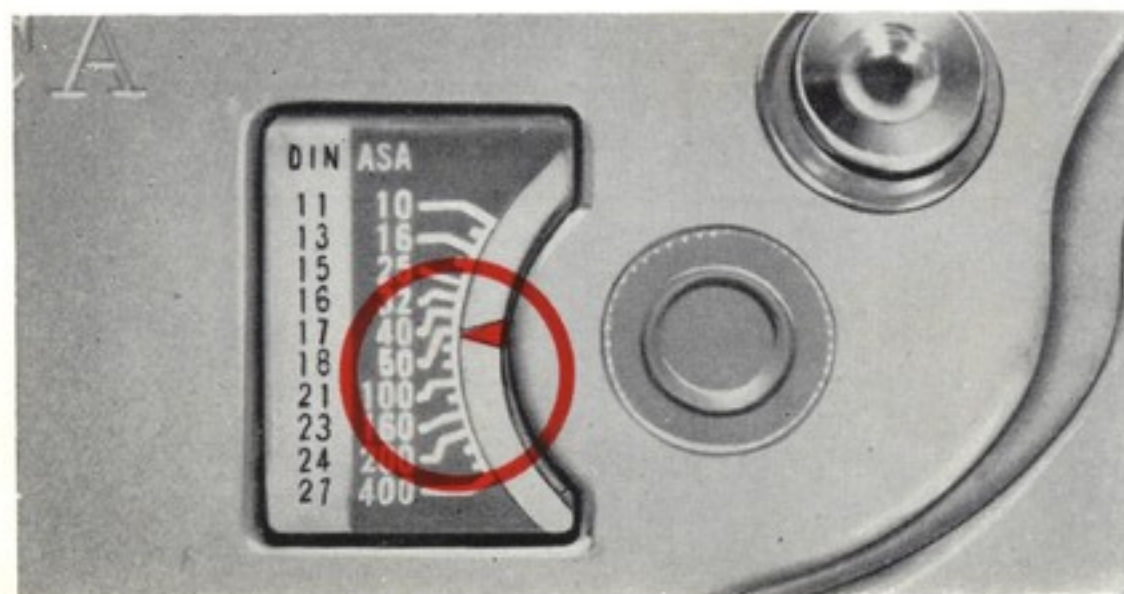
(21頁参照)

露出についての注意



◎逆光線撮影のとき

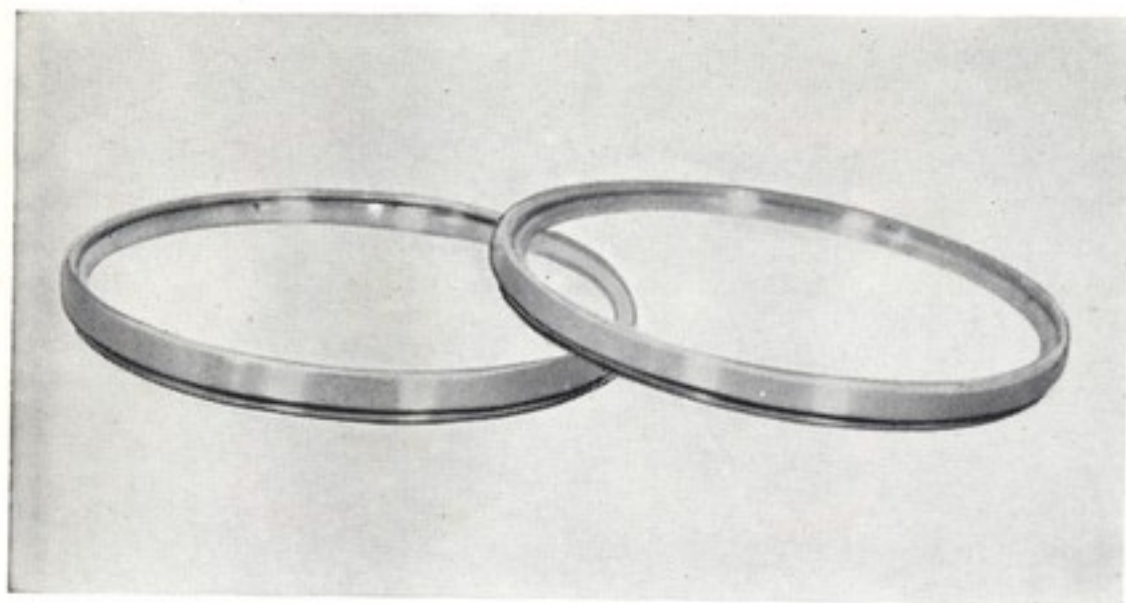
主被写体にくらべて、バックが非常に明るい場合や逆光線撮影のときに、E E撮影を行なうと露出がバックに合っ、主被写体は露出不足になります。このような時は、次の方法を使ってください



◇フィルム感度を利用します。

逆光の露出は、順光線撮影の約2倍とされていますから、ASA 100のフィルムを使用していたら、ASA 50にセットして撮影してください。

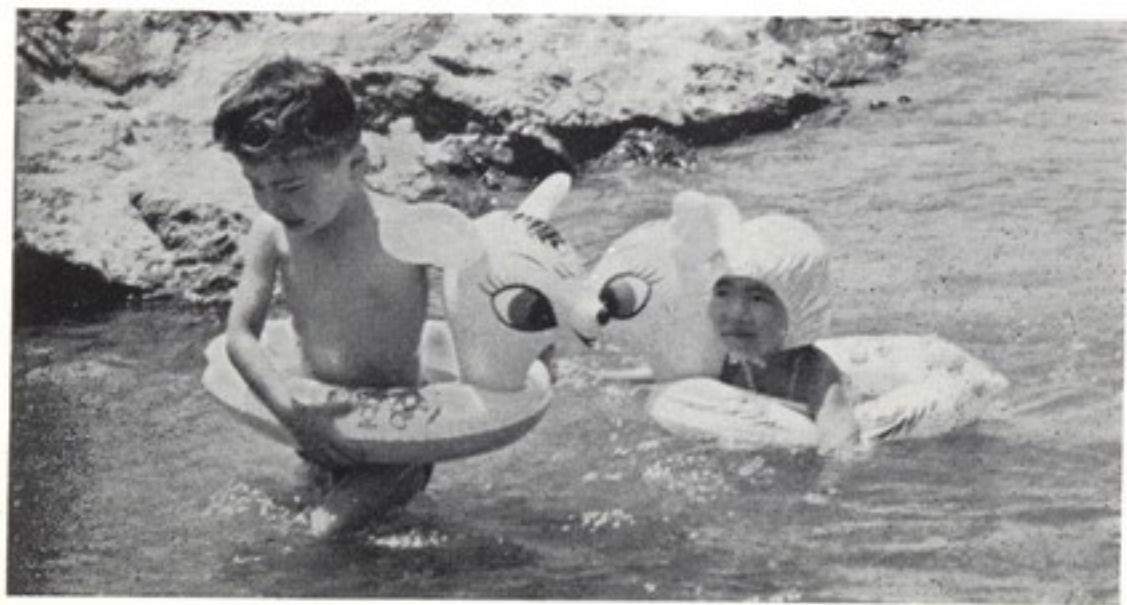
これは、例外な手段ですから撮影が終了したらすぐ感度目盛を元に戻してください



◎フィルターをかけたとき

フィルターを使用しても、ミニマティックではレンズばかりでなく、露出計受光面もおおいますから露出倍数による修正の必要はありません。

フィルターをかけても、かけないときと同じようにE E撮影ができます。



◎光線の強い場所（雪景色、真夏の海岸、遠い山等）では、フィルターをかけた方がよい結果があらわれます。

フィルターにはネジ込み55mmの専用フィルターが用意されています。

シャッターと絞りの関係



AUTO にセットすることで、EE機構が作動します。

そして、シャッター速度と絞りの二つが自動的に組み合わせられ、ライトバリュウ-LV 7~17の間でいつも適正な露出を示します。

ASA・DIN感度目盛について

ASA・DIN目盛数の間にある線は下に書いてある数字を示します。

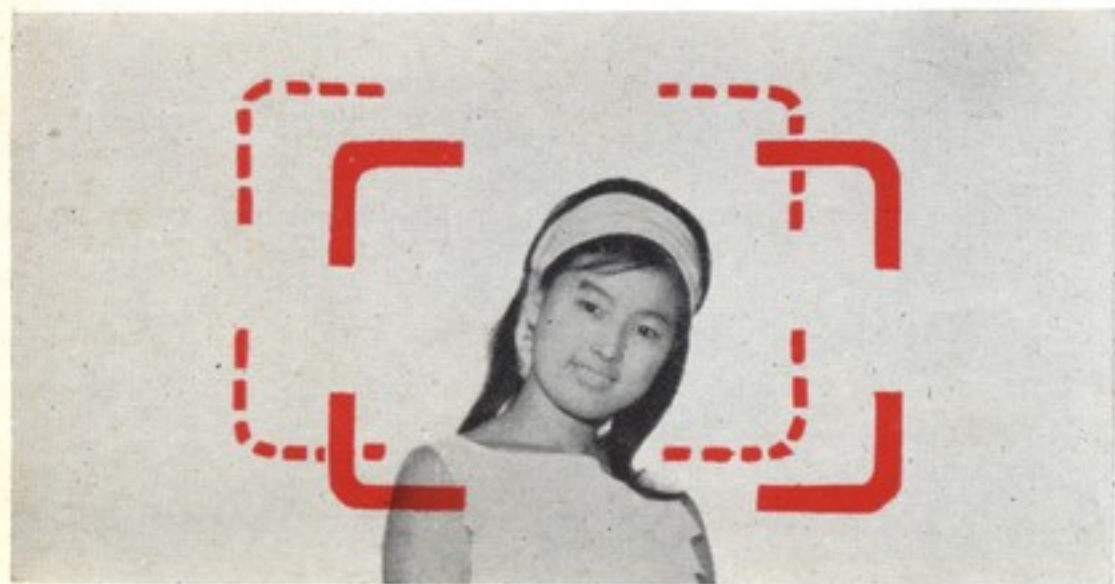
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| A S A | 10 | | 16 | | 25 | 32 | 40 | 50 | | | 100 | | 160 | 200 | | | 400 |
| | | 12 | | 20 | | | | | 64 | 80 | | 125 | | | 250 | 320 | |
| D I N | 11 | | 13 | | 15 | 16 | 17 | 18 | | | 21 | | 23 | 24 | | | 27 |
| | | 12 | | 14 | | | | | 19 | 20 | | 22 | | | 25 | 26 | |

ファインダーの見かた



ファインダーを覗くと、ブライトフレーム（光像枠）が見えます。

フレームの内が実際に写る画面です。



パララックス（視差）自動匡正装置がついており、距離に応じてフレームが動きます。近接撮影でも視差を気にする必要はありません。

フレーム内で撮影すればいつでも正しい画面が得られます。

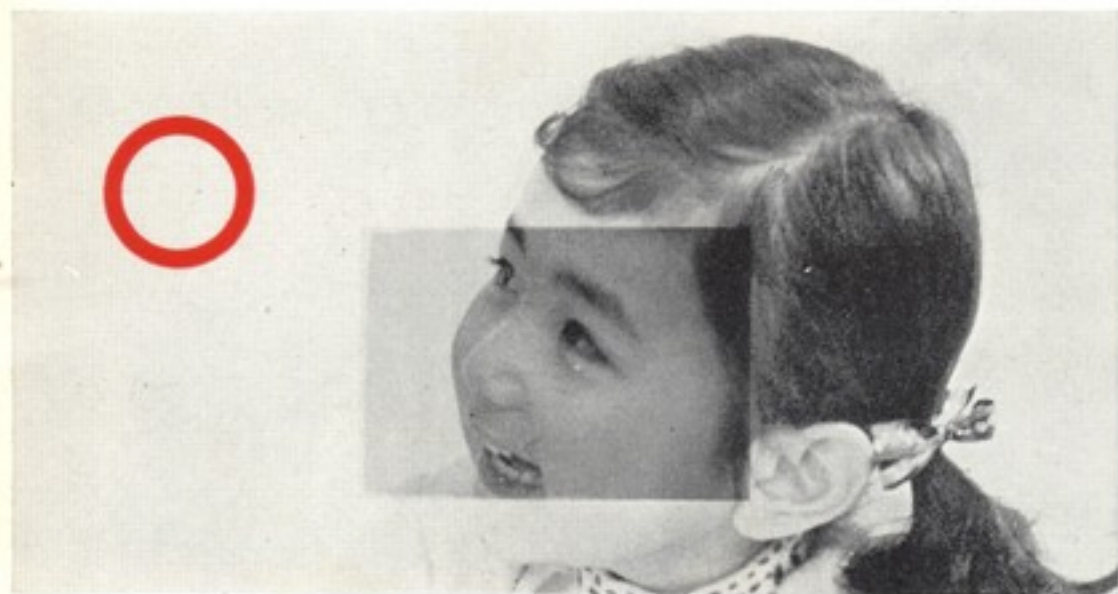
ピントはこうして合わせます



ファインダー接眼部の中央に眼を正しくくくあててファインダーを正確に覗いてください



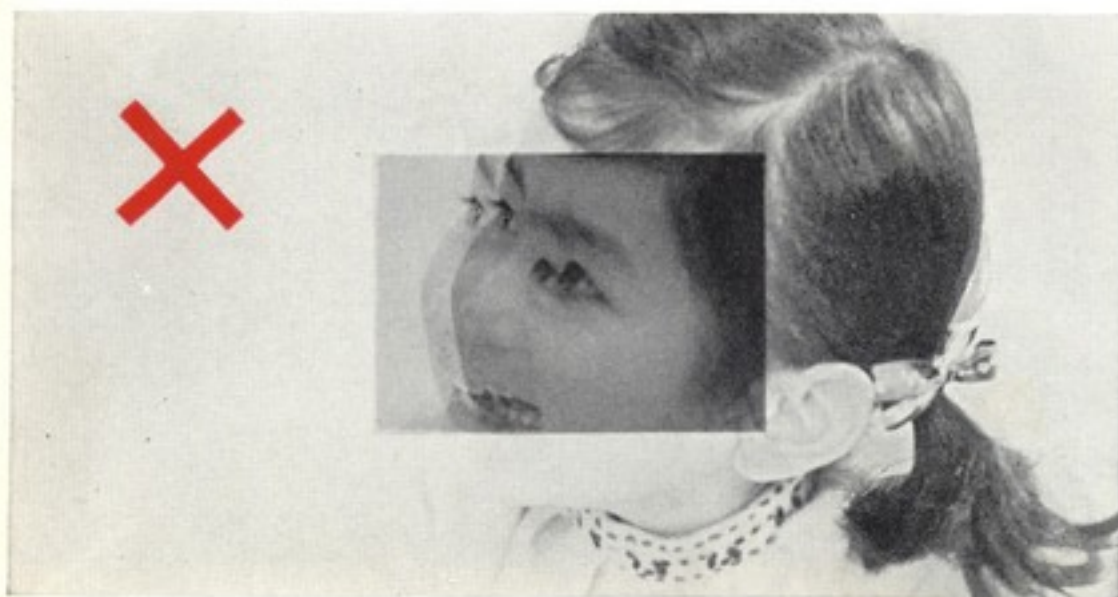
ピント調節は、距離調節リングを回して中央部に見える四角の内の二重像を合わせてください。



◎ピントが合ったとき

左のように、四角の中で像がひとつに見えればピントが合ったときです。

ピントは、写したいものの中心に合わせてください。



◎ピントが合わないとき

左のように、四角の中で像がずれて見えるときは、ピントが合っていないときです。

正しく構えましょう

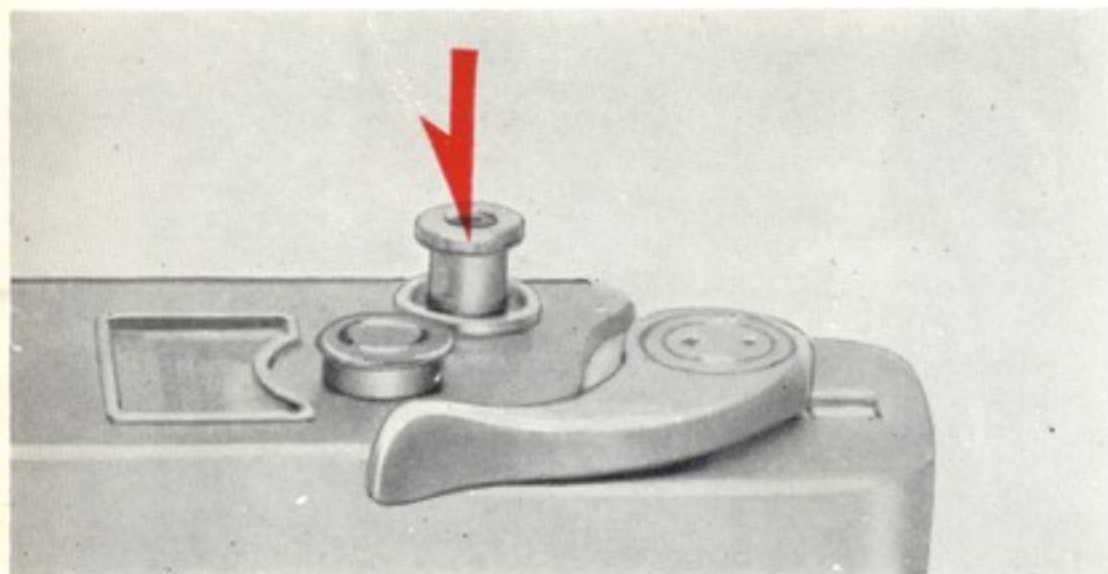


ひじを体につけて構え、カメラは顔につけて安定させます。

楽な姿勢で構え、眼はファインダー接眼窓の中央に正しくあててください。



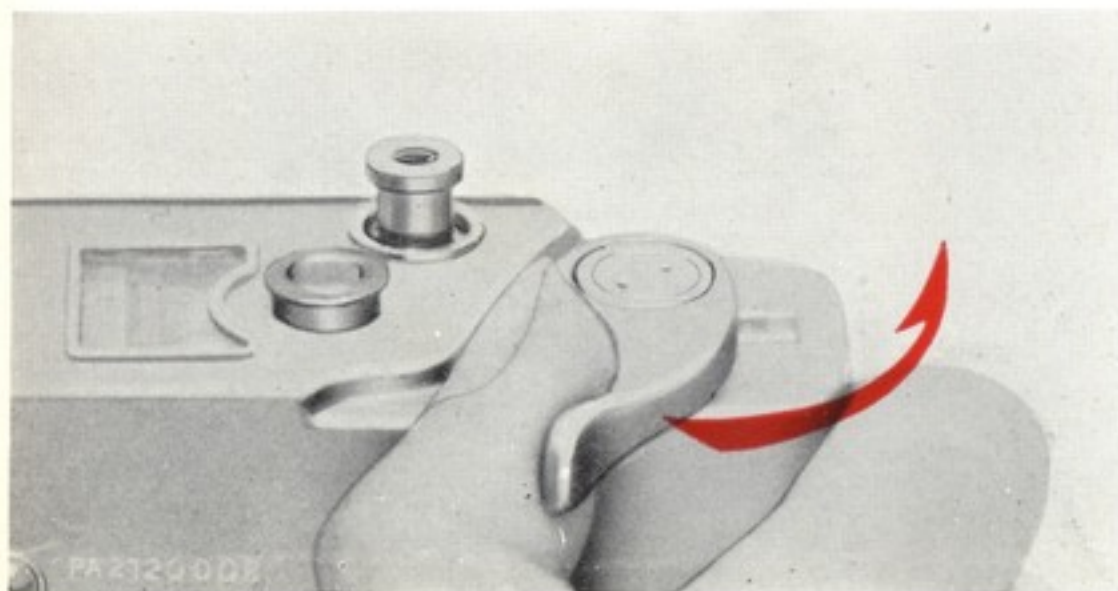
縦位置のときは、写真のように左手でカメラを支え、右手でシャッターを押すようにすると楽に構えられます。



◎シャッターボタンを押す

シャッターボタンは、右手の人差し指で静かに押します。

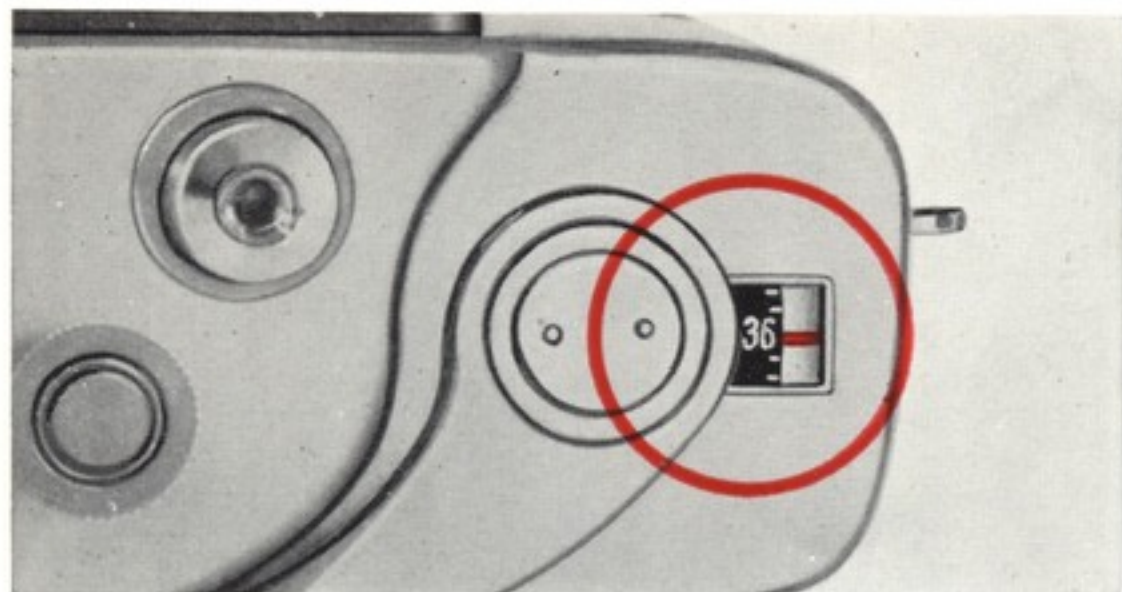
あまり強く押すとカメラふれの原因となります。



◎巻上げレバーを巻く

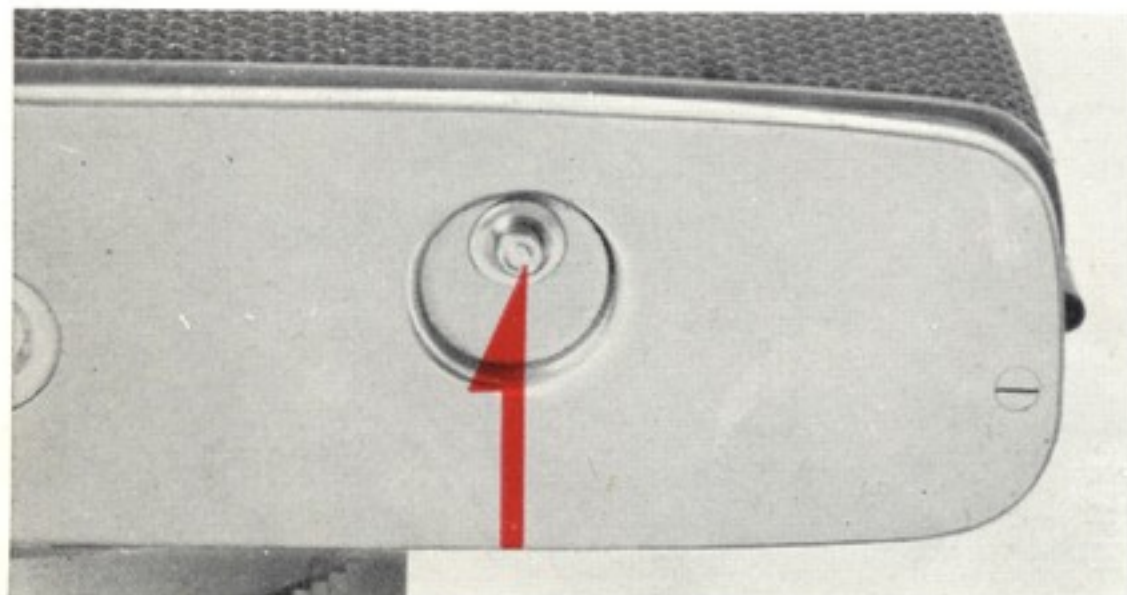
巻上げレバーに右手親指をかけて、右へ止まるまで巻けば、フィルムが1枚巻き上げられ、同時にシャッターもセットされます。

フィルムを巻戻すには



枚数計が36（または20）の数字になるとフィルムが終ったしるしです。

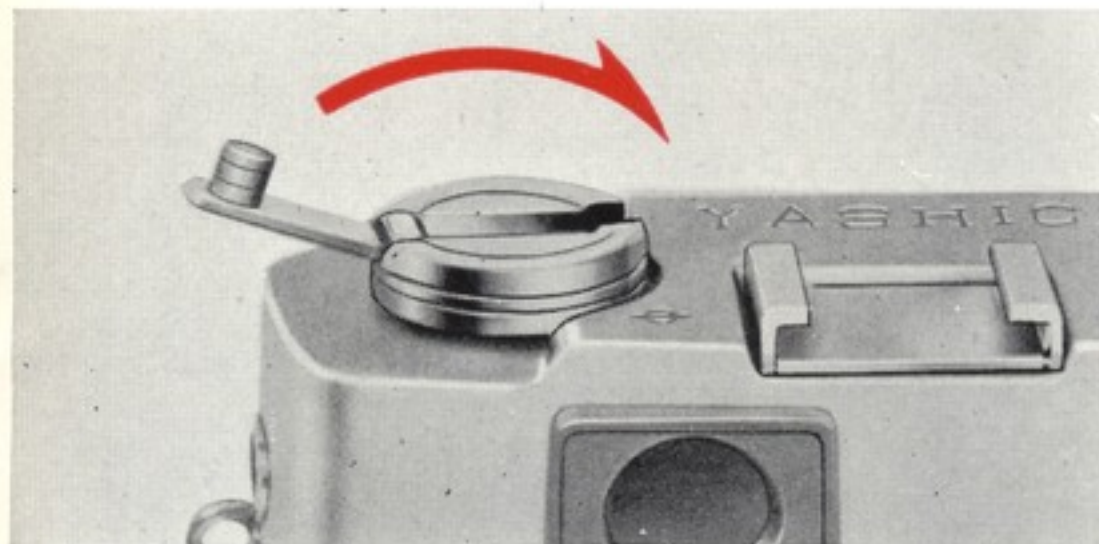
◎なお、フィルムが終ったとき無理に巻上げるとフィルムが切れたり、パトローネからはずれたりして巻き戻しができなくなります。



カメラ底部のフィルム巻戻し用ボタンを押します。このボタンは、自動解除方式ですから巻き戻し中に手で押している必要はありません。

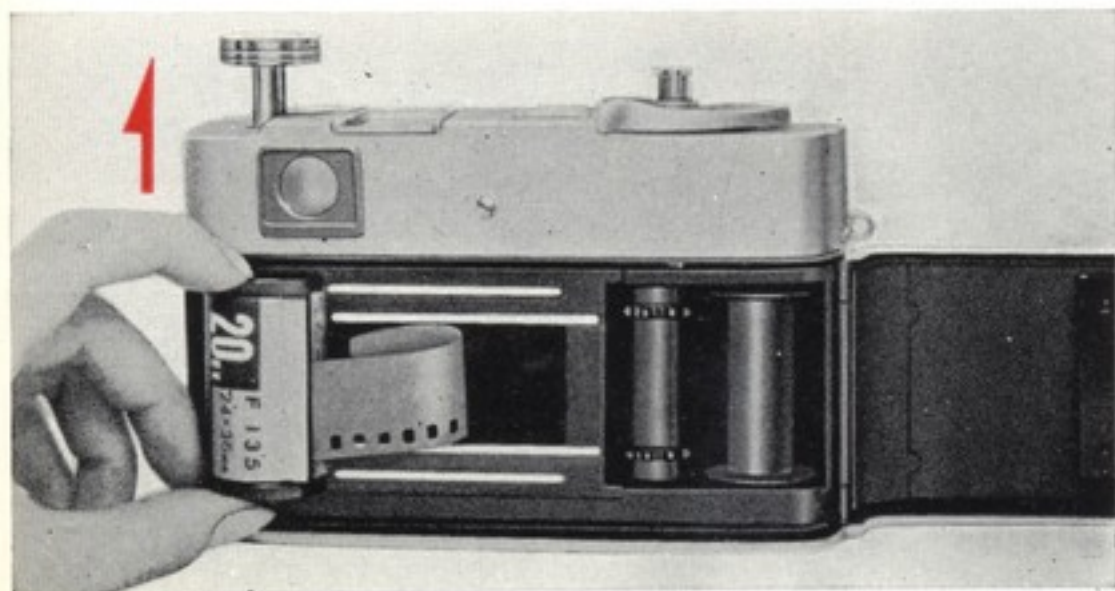
（巻上げレバーを巻上げると自動的にボタンがでて巻上げ可能の状態になります。）

撮り終わったら、パトローネに巻戻してからカメラより取り出します



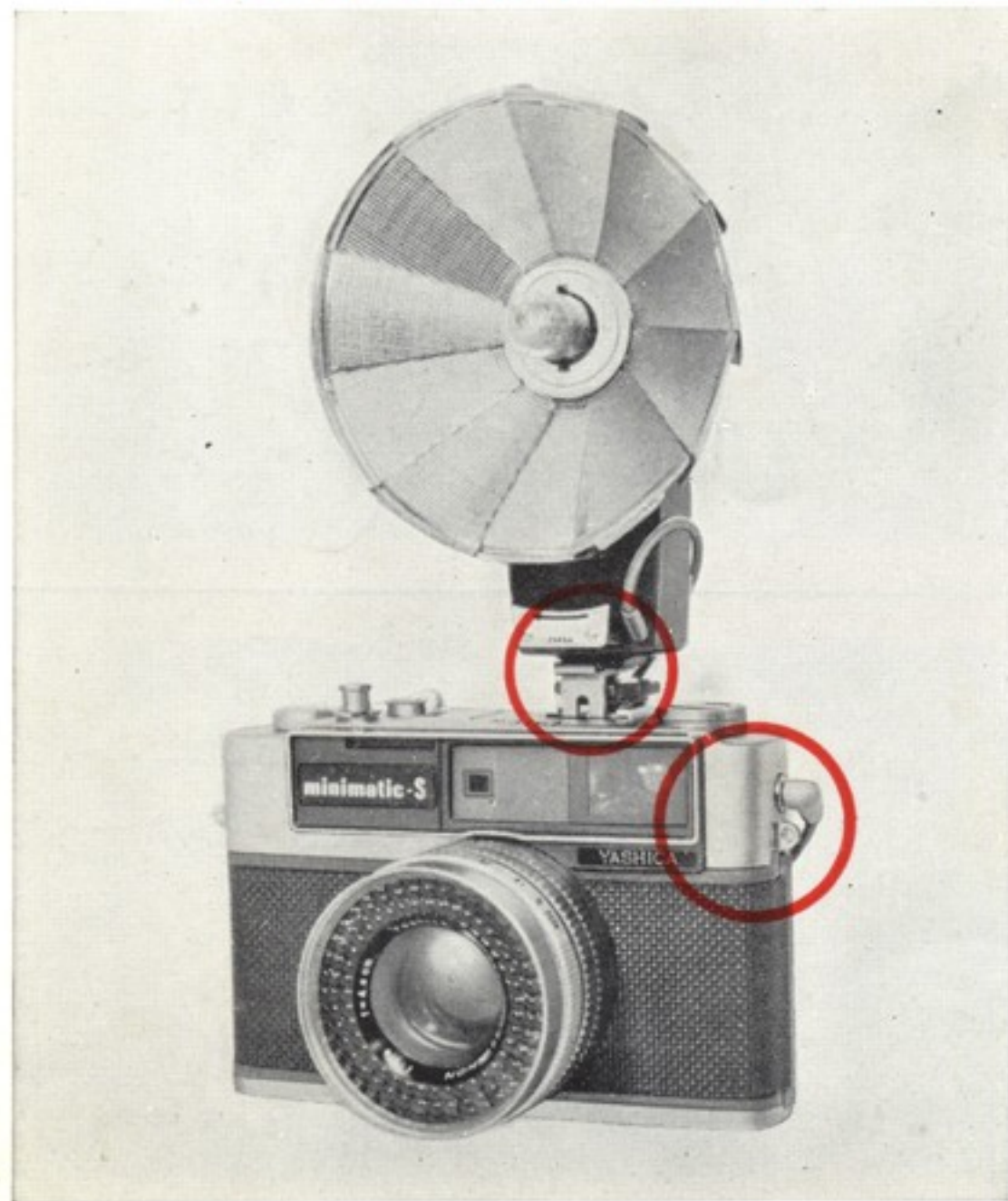
巻戻しノブのクランクを起して、矢印方向に回します。

フィルムがスプールからはずれるときにちょっと抵抗を感じますが、そのまま巻きつづけてください。



抵抗感がなくなったら、裏蓋をあけ巻戻しノブを引きあげて、パトローネを取り出します。

シンクロ撮影をするとき



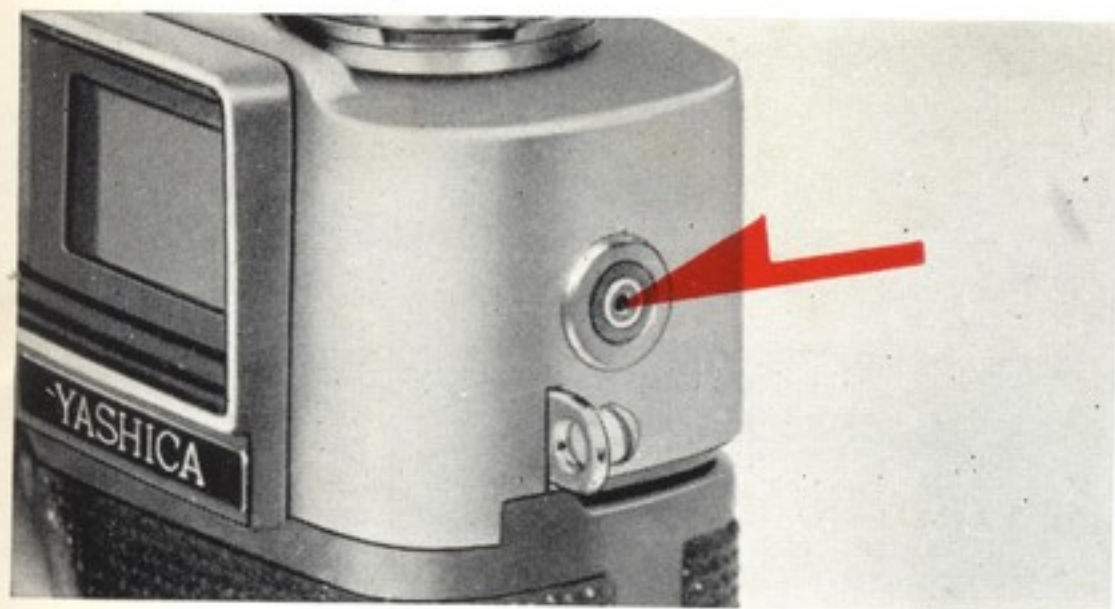
シンクロ撮影には、E E撮影のAUTOは使えません。

マニュアルリングをAUTOからはずすと、自動的に $\frac{1}{30}$ 秒のシャッターにセットされます。

フラッシュガンをアクセサリシューに差し込みます。

シンクロ接点に、フラッシュガンのコードのプラグを差しこみます。

シンクロ接点はX接点です。

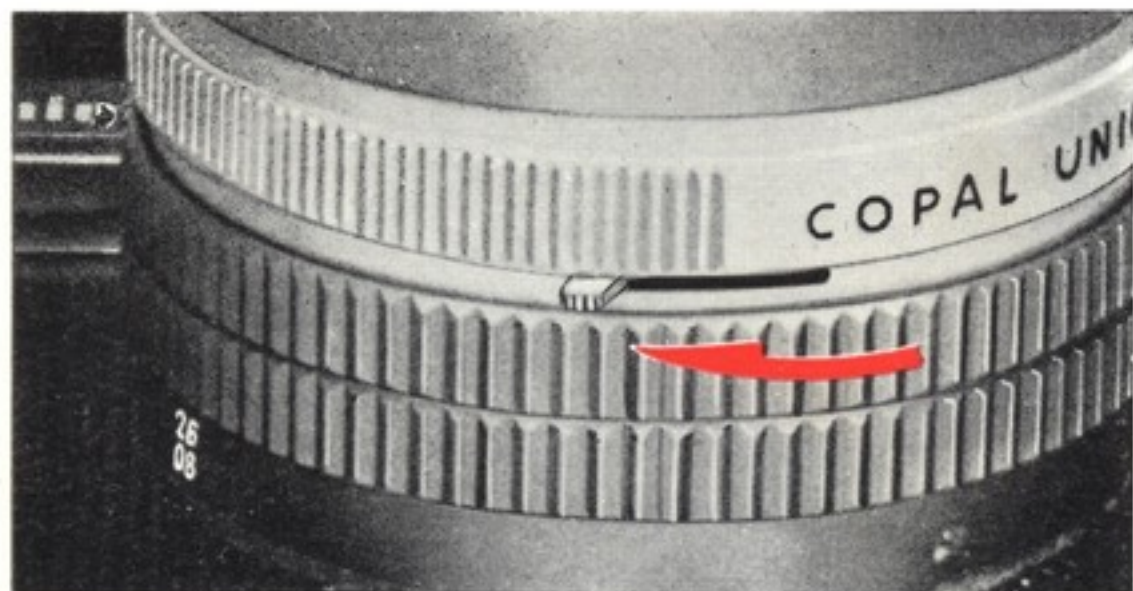


シンクロ接点はX接点ですし、シャッター速度が $\frac{1}{30}$ 秒にセットされているため、ストロボ、F球、M球閃光電球のどれでも使用できます。



シンクロ撮影では、マニュアルリングを回し、手動絞りを使用します。絞りは、閃光電球のガイドナンバーにしたがって決めてください。

セルフタイマーを使うとき



レンズ鏡胴部の下にあるセルフタイマーレバーを矢印方向にセットします。



シャッターボタンを十分に押してください。そうすると7～8秒でシャッターが作動します。



◎ B (バルブ) を使うとき

Bは、シャッターボタンを押している間はシャッターが開き、指を離すと閉じますので、長時間露出に使います。マニアリングを回しBを合わせると、絞りは自動的にF1.8になります。



B (バルブ) を使うときは、必ずレリーズと三脚を併用してください。レリーズは、シャッターボタンのネジ穴にネジ込んでください。

アクセサリーについて



◎専用フード

有害な光線をカットし
よい写真をとるために
必要です。(カブセ57mm)

¥ 800

◎専用フィルター

(ネジ込み55mm)

黑白用 (UVY₂)

¥ 800

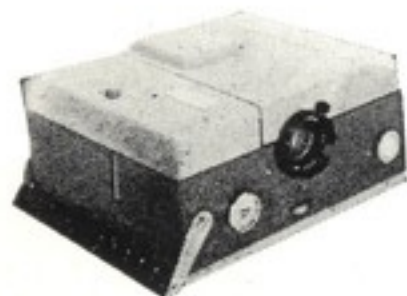
カラー用 ¥ 1,000



ヤシカ オートスライド

¥ 18.500

ボタン1つで、30枚の
カラースライドの連続
映写ができます。



ラジアントスクリーン

(75×75cm) ¥ 3.800

どこへでも気軽に立て
られ、美しい映写が楽
しめます。



カメラの手入れは

- 1、レンズは、いつもきれいにしておきましょう。レンズブラシや柔らかいガーゼのよ
うなもので軽くふいてください。
- 2、露出計の狂う最大の原因はショックです。乱暴にあつかわれないように、また、高
い湿気や高熱にさらすことのないようにしてください。
- 3、手入れのつもりで、シャッターや内部を分解するのはやめてください。

★修理のときは下記へお送りください。

ヤシカ諏訪工場 長野県諏訪郡下諏訪町222

お問い合わせは下記へお願いします



株式会社ヤシカ

東京・渋谷区神宮通 2-3-1

電話(402) 4161・4171・4181・4191

制作監修 商品部 63.4-10000-3 (SY)



株式会社ヤシカ